

第37回櫻井健二郎氏記念賞表彰

第37回（2021年度）櫻井健二郎氏記念賞は、受賞題目「スペクトル解析型フローサイトメーター開発と実用化」に対し、ソニー株式会社の古木基裕氏、二村孝治氏、今西慎悟氏、山崎剛氏の4名に授与された。



第37回櫻井健二郎氏記念賞受賞者
(左から) 今西慎悟氏、古木基裕氏、二村孝治氏、山崎剛氏

櫻井健二郎氏記念賞は、当協会の理事であった故櫻井健二郎氏が光産業の振興に果たした功績を讃え、と共に、光産業および光技術の振興と啓発を図ることを目的として創設したもので、今回の表彰を含め、合計69件、延べ175名が受賞している。

今年度の櫻井賞は、光産業および光技術の分野において先駆的役割を果たした2011年度以降の業績を対象に、応募6件の中から厳正に選考された。

上記1グループ4氏に対する表彰式は、2022年2月16日に開催された2021年度光産業技術シンポジウムの終了後、同会場にて行われた。

表彰式は、櫻井健二郎氏記念賞委員会の荒川泰彦委員長（東京大学名誉教授）による選考経過報告の後、表彰状、メダル、副賞が各受賞者に手渡され、その後、受賞グループを代表し、古木基裕氏から謝辞が述べられた。

受賞題目：スペクトル解析型フローサイトメーター開発と実用化

受賞者

ソニー株式会社 メディカルビジネスグループ メディカル設計部門 商品設計 2 部

古木 基裕 (ふるき もとひろ)	統括部長
二村 孝治 (ふたむら こうじ)	プロジェクトマネージャ
今西 慎悟 (いまいにし しんご)	シニアオプティカルエンジニア
山崎 剛 (やまさき たけし)	シニアハードウェアエンジニア

受賞理由

受賞者らはブルーレイディスク装置で培った高速移動微小体の光検出技術をもとに、自ら開発した独立印加型 32ch 光電子増倍管と重み付最小二乗法アルゴリズムを組み合わせることにより、世界初のスペクトル解析型フローサイトメーターを実現し、製品化した。この装置ではスペクトル アンミキシング方式を用いることで検出蛍光数を飛躍的に増加させ、また従来機の欠点であった蛍光強度補正再現性を解決した。その結果、世界最高性能の 7 レーザー励起による 44 色以上の蛍光検出の実現に成功した。この装置は極めて分解能が高いため国内外の先端医療研究機関で利用され、がん免疫・感染症研究に大きく貢献している。医薬分野での新たな光装置の実現は社会的貢献も大きい。

自社の光ディスク装置の技術を全く新しい分野に展開し高性能な光装置を実現したことは、光の総合知の重要性を示したもので、今後の我が国の光産業の模範となる優れた業績である。